

東地協 ニュース 2023.6 第43号



「技術ノート」大好き！



(一社) 東京都地質調査業協会

外部理事 桑原 文夫

(パイルフォーラム(株) 取締役副社長)

当協会が毎年発刊している「技術ノート」を読むのを楽しみにしています。昭和62年発行の創刊号から現在の55号まで長く続いているのは驚くばかりです。12号までは「技術トピックス」と「技術資料」に分かれていましたが、その後は前者だけになり、現在では東地協の「技術ノート」といえば、東京の地形や地質に関連した話題を分かり易く書いた「技術トピックス」が定着しています。一方、後半の「技術資料」はいわば、土質調査方法について解説したもので、現在では多くの類書があるせいでしょうか、その後は「技術ノート」からなくなりました。

私は昭和50年から平成25年まで38年間、大学の建築学科に勤め、その間、土質力学や基礎構造を教えていました。そのころから「技術ノート」の「技術資料」はもちろん、「技術トピックス」も教材として使わせていただきました。共に良くできた資料で、特に「技術トピックス」は他に例のないもので、学生の興味を引き付ける最適な資料でした。(実のところは学生より私の興味でしたが！)

ところで、本協会の理事を仰せつかった後、ある時の「技術ノート」について、クレームをつけたことがあります。それは、その号の資料の集め方についてです。クレームは転載許可のあいまいさについてでしたが、本音は、それよりも資料の集め方がイージーすぎるのではないかというものです。既発表資料やウェブサイトからの引用がほとんどで、オリジナルなものが少なかったのです。もちろん、重要な原著があり、そこからの引用は必須で、それを非難する訳ではありませんが、中には、「技術ノート」の執筆者が自ら執筆できる内容すら転載しているのはいかがなものかと思いました。

かつて私が続けていた大学の授業で、学生にレポートを書かせると、インターネット情報のつなぎ合わせのようなものが提出されることが多くなりました。もちろん資料集めにウェブ情報を加えることも必要ですが、自分で足を運ぶことができるものでも、PCからの受け売りで、実際に自分の目で見ておりません。体裁よくまとまったレポートでも血の通ったものから遠いものになるのは当然です。最近、AI技術を活用した「チャットGPT」が話題になり、それを使ったレポートを禁止している大学があると聞いていますが、上と同じ理由だと思います。「技術ノート」の編集委員の方は、通常の仕事の他に、協会の作業を行っているわけで、こんなキツイ要求には応えられないとお思いかもしれませんが、私のようにこの冊子の出版を待望している読者のために、もう少しのお骨折りをお願いしたいと思っています。

● 会議報告等

○ 第39回定時総会

5月12日(金)、エッサム神田ホール1号館 7階中会議室1にて、第39回定時総会が開催された。会員数26社に対し、23社が出席(うち委任状提出14社)となり、全議案が承認された。

< 議案 >

- (1) 令和4年度事業報告承認の件
- (2) 令和4年度決算報告承認の件
令和4年度監査報告

< 報告事項 >

- (1) 令和5年度事業計画の報告
- (2) 令和5年度予算の報告



○ 理事会

1. 令和4年度 第6回

日時：令和4年12月12日(月)

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 東京都「財務局」意見交換会について
- (3) 東京都「建設局」意見交換会について
- (4) 委員会報告
 - 1) 総務・広報委員会
委員会報告(11月21日)
 - 2) 技術広報委員会
委員会報告(11月16日)

2. 令和4年度 第7回

日時：令和5年2月21日(火)

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 令和4年度決算、令和5年度事業計画・予算、定時総会について
- (3) 全地連「技術フォーラム2023」横浜実行委員会について
- (4) 東京都「BIM/CIMに関するアンケート」依頼
- (5) 東京都「工事情報共有システムの変更(通知)」について
- (6) 「ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会」の開催予定
- (7) 委員会報告
 - 1) 総務・広報委員会
委員会報告(1月20日)
 - 2) 技術委員会
委員会報告(12月14日)

3. 令和5年度 第1回

日時：令和5年4月18日(火)

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 令和4年度決算、令和5年度事業計画・予算、定時総会について
- (3) 「災害時における設計、測量、地質調査等の応急対策業務に関する協定」に基づく東京都都市整備局との細目協定締結に向けた意見交換
- (4) 「ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会」について



- (5) 「東京都の予算要望」に対する回答<立憲民主党より>
 (6) 委員会報告
 1) 総務・広報委員会
 委員会報告(3月7日)
 委員会報告(4月10日)
 2) 技術委員会
 委員会報告(4月19日)

4. 令和5年度 第2回

日時：令和5年5月12日(金)

- (1) 前回議事録の確認
 (2) 第39回定時総会の進行について
 (3) 全地連「技術フォーラム2023」横浜について
 (4) 「東京都の予算要望」に対する回答<立憲民主党より>

5. 次回理事会開催予定

日時：令和5年7月12日(水)

◆ 行事報告

○ ボーリングマシン安全衛生特別教育講習会(春期)

※ 協力：東邦地下工機(株)

後援：(一社) 全国さく井協会、
 (一社) 日本アンカー協会
 (一社) 全国特定法面保護協会
 (一社) 日本グラウト協会
 (一社) 関東地質調査業協会

[日時] 令和5年4月6日(木)、7日(金)、8日(土)

[場所] <学科> 測量地質健保会館(東京都豊島区)
 <実技> 東邦地下工機(株)(東京都品川区)

[講師] 東邦地下工機(株) 東京開発部
 片山 浩明氏(協会外部理事)

[内容]

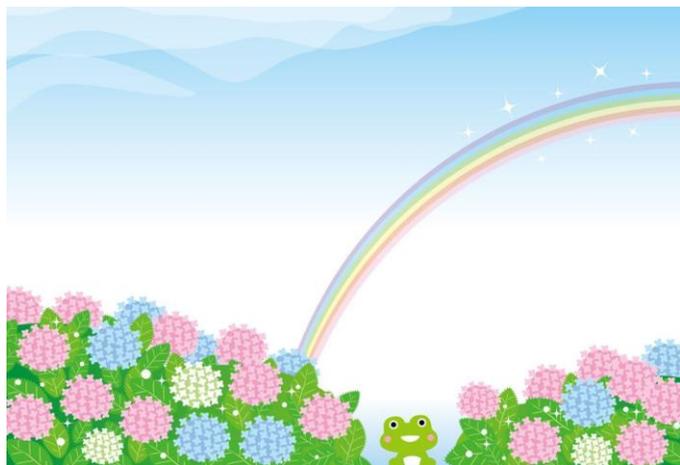
<学科> ① ボーリングマシンに関する知識
 「基礎知識・構造」「運転及び点検・整備」
 ② ボーリングマシンの運転に必要な
 一般事項に関する知識「施工・力学と電気」
 ③ 関連法令「関係法令・災害事例」

<実技> 運転及び安全のため合図、運転実技

[参加者] 41名

▲ 行事日程

日程	行事名・内容等
6月19日(月)	(関東) 第2回関東協会技術フォーラム
6月23日(金)	(全地連) 道路防災点検講習会
7月5日(水)	(東京) 船で巡る東京港と地盤環境・防災講習会
7月5日(水)	(関東) 関東講演会(MPCと共催)
7月8日(土)	(全地連) 地質調査技士 資格検定試験
7月14日(金)	(関東) 災害復旧事業技術講習会
7月21日(金) 7月22日(土)	(東京) ボーリングマシン安全衛生 特別教育講習会(夏期)
7月22日(土)	(関東) 事故防止講習会
8月26日(土) 8月27日(日)	(関東・東京) そなエリア東京 防災イベント
9月3日(日)	(関東・東京) 東京都・東村山市合同総合防災訓練
9月6日(水) 9月7日(木)	(全地連) 技術フォーラム2023・横浜



◆ 新任委員紹介



中央開発株式会社 東京支社
営業部 吉田 知史

令和5年4月より、総務・広報委員として参加させていただくこととなりました。中央開発の吉田でございます。総務・広報委員会では、広報部会を担当させていただきます。

2015年に中央開発に入社し、情報部門で3年間従事したのち、東京支社にて営業を担当しております。当初の2年は官庁営業を担当し、それ以降現在に至るまで民間営業を中心に担当しております。

趣味は音楽鑑賞とスポーツ観戦です。音楽は古いものから新しいものまで、洋楽～邦楽まで浅～く幅広く聞くようにしています。その中でも好きなのはブルーハーツやZIGGY、尾崎豊など1980～90年代前後のダサカッコ良い日本のロックが好きです。

スポーツはサッカーが一番好きなので、時間があれば妻に小言を言われながらサッカー観戦をしております。

最初は皆さまにご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、皆様と様々な意見を交わしながら、少しでも地質調査業界を魅力あるものになるよう努力いたします。今後とも何卒よろしく願いいたします。



お店紹介

神田ガード下にある大衆フレンチビストロ
「Tchin-TchinGORO」

JR 神田駅徒歩1分、西口と北口の間にあるお店で、入店すると元気なスタッフさん全員で迎えてくれる気持ちの良いお店です。モトーン色の壁に木材を基調とした店内に大きなワイン樽をイメージしたU字型のウッドボックス席が印象的で、落ち着いた色の電飾と横積みになんだワインボトルの装飾は地下ワインセラーを感じさせる隠れ家的な雰囲気です。

料理はリーズナブルな洋風メニューをはじめ、変わり種は「フレンチおでん」お通しで出てくるボルチーニソース大根はクリーミーでさっぱりした味の“洋風ふるふき大根”といった感じですよ。お洒落だけど気取らない“大衆フレンチ”はいろいろなシーンで利用できるお店だと思います。

店名：フレンチビストロ Tchin-Tchin GORO 神田駅前店

住所：東京都千代田区鍛冶町2丁目13-8 ルークス神田A

電話：03-6206-0563

営業：【月～金】17:00～23:30 (ラストオーダー22:30)

【土・日・祝】15:00～23:00 (ラストオーダー22:00)

日曜営業 定休日 無休

アクセス：JR神田(東京)駅西口より徒歩約1分/

東京メトロ銀座線神田(東京)駅1出口より徒歩約2分

(文筆：H.S)



■ 会員(正会員・賛助会員) 動静

(1) 正会員

- ・応用地質(株) 東京営業所

<代表者変更>

[新] 所長 伊藤 裕公

[旧] 所長 白元 直仁

- ・協和地下開発(株) 東京支社

<代表者変更>

[新] 代表取締役 高橋 高志

[旧] 支社長 中込 実敏

<住所変更>

[新住所]

〒103-0004

東京都中央区東日本橋2-13-5

TEL : 03-3862-4931 (変更なし)

FAX : 03-3862-4933 (変更なし)

(2) 賛助会員

- ・(株)アドメディア

<住所変更>

[新住所]

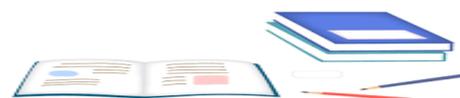
〒103-0007

東京都中央区日本橋浜町3-35-5-504

(TEL) 03-3527-2020

(FAX) 03-3527-2044

住所・代表者・会社名等の変更がございましたら、
お手数ですが協会事務局までご連絡をお願い致します。
(協会事務局 TEL 03-3252-2963)



・ 編集後記 ・

最近、話題をさらっているのは
ChatGPT ではないでしょうか。
皆様触っていますか。



OpenAI 社が開発した言語モデル
であり、人工知能の分野で大きな注
目を集めています。

私は自身の職務がら、業務メールの下書き、契約書や安
全書類のリーガルチェック、プログラミングの作成などで
大いに活用し、日々発見と感動を体験している最中です。

会員の皆様は日々の業務にお忙しいとは思いますが、
他の社員の方が ChatGPT を触っているかどうか、また、
自社で ChatGPT を活用することでどのような効果があ
るか、一度考えてみては如何でしょうか？

今後の地質調査業において、ChatGPT がどのような役
割を果たすか注目していきたいと思えます。

(H. T)



東地協ニュース 2023.6 第43号

発行・編集 一般社団法人東京都地質調査業協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-6-8 (内神田クレストビル)

TEL 03-3252-2963 FAX 03-3252-2971

<https://www.tokyo-geo.or.jp/> E-Mail info@tokyo-geo.or.jp